



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

東・福

上場会社名 日本タングステン株式会社

上場取引所

コード番号 6998

URL <https://www.nittan.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 後藤 信志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理本部長 (氏名) 原口 寿 (TEL) (092) 415-5500

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	6,611	12.7	602	24.8	756	22.2	518	16.6
2022年3月期第2四半期	5,865	24.6	483	—	619	352.3	444	198.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 648百万円(48.9%) 2022年3月期第2四半期 435百万円(229.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	214.52	213.88
2022年3月期第2四半期	184.37	183.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	16,953	11,226	66.2
2022年3月期	16,446	10,736	65.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 11,216百万円 2022年3月期 10,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	70.00	120.00
2023年3月期	—	60.00			
2023年3月期(予想)			—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	5.5	1,050	14.9	1,260	1.7	900	3.4	373.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期2Q	2,577,760株	2022年3月期	2,577,760株
2023年3月期2Q	159,254株	2022年3月期	167,131株
2023年3月期2Q	2,415,163株	2022年3月期2Q	2,409,138株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和や、経済活動の正常化が進む一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による原材料・エネルギー価格の高騰や、急激な為替変動による金融市場への不安等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが注力する市場におきましては、半導体・電子部品市場が好調を維持したことや、産業用機器・部品市場でも国内外の設備投資需要に支えられ好調に推移しました。一方で、自動車部品市場では、半導体不足の影響等により、減収となりました。また、衛生用品機器市場は、需要の回復が部分的なものに留まっており、低調に推移しました。

このような経済環境のもと、当社グループは、「日本タングステングループ2024中期経営計画」で掲げた成長戦略の実現に向けて、不採算事業の収益改善及び継続の見極めを進めながら、利益体質の強化や、新商品創出活動の強化等、事業ポートフォリオの改善に注力してまいりました。

上記の結果、当社グループの売上高は、販売価格改定の浸透もあり、前年同四半期比12.7%増の66億1千1百万円となりました。

損益面では、前年同四半期を上回る売上高を記録したことや、製造経費及び販管費の圧縮等の収益改善活動を進めた結果、営業利益は、前年同四半期比24.8%増の6億2百万円となり、経常利益は、前年同四半期比22.2%増の7億5千6百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比16.6%増の5億1千8百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ5億6百万円増加の169億5千3百万円となりました。これは主に有形固定資産が減少したものの、現金及び預金、売上債権及び棚卸資産が増加したことによるものであります。負債は、1千7百万円増加し、57億2千7百万円となりました。これは主に未払法人税等及び設備関係未払金が減少したものの、支払債務や賞与引当金が増加したことによるものであります。純資産は、4億8千9百万円増加し、112億2千6百万円となりました。これは主に利益剰余金及び為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、為替の動向及び感染症リスクの継続等、業績の下振れリスクも多くあり、先行きは不透明な状況が続くものと思われま

当社グループが注力する市場におきましては、好調が続く半導体・電子部品市場で、ハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板が、データセンター向け需要の一服感から、在庫調整等が見込まれ、また、自動車部品市場では、自動車生産の減産による影響が続くと想定しております。

2023年3月期の通期業績予想は、今後も受注状況及び市場環境の動向を見極めつつ、予想を修正すべき場合は速やかに公表することとし、現時点で、連結、個別ともに2022年8月4日に公表いたしました通期業績予想値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,928	4,120
受取手形、売掛金及び契約資産	3,218	3,202
電子記録債権	444	861
商品及び製品	285	315
仕掛品	1,285	1,247
原材料及び貯蔵品	537	610
その他	328	273
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	10,028	10,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,943	1,869
機械装置及び運搬具（純額）	910	870
工具、器具及び備品（純額）	57	53
土地	290	292
リース資産（純額）	49	37
建設仮勘定	62	32
有形固定資産合計	3,314	3,156
無形固定資産		
無形固定資産	23	19
投資その他の資産		
投資有価証券	1,113	1,179
賃貸不動産（純額）	1,272	1,253
退職給付に係る資産	638	658
その他	66	57
貸倒引当金	△11	△4
投資その他の資産合計	3,080	3,144
固定資産合計	6,417	6,321
資産合計	16,446	16,953

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,151	982
電子記録債務	147	417
短期借入金	2,430	2,430
リース債務	25	22
未払法人税等	279	256
賞与引当金	472	590
役員賞与引当金	36	19
製品保証引当金	25	26
設備関係未払金	282	126
その他	543	562
流動負債合計	5,393	5,434
固定負債		
リース債務	29	19
繰延税金負債	72	59
資産除去債務	24	39
その他	188	174
固定負債合計	315	292
負債合計	5,709	5,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,509	2,509
資本剰余金	2,229	2,229
利益剰余金	6,087	6,435
自己株式	△336	△321
株主資本合計	10,488	10,852
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	204	205
為替換算調整勘定	9	136
退職給付に係る調整累計額	18	21
その他の包括利益累計額合計	232	363
新株予約権	15	10
純資産合計	10,736	11,226
負債純資産合計	16,446	16,953

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	5,865	6,611
売上原価	4,326	4,905
売上総利益	1,539	1,705
販売費及び一般管理費	1,055	1,102
営業利益	483	602
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	9	10
持分法による投資利益	25	19
不動産賃貸料	140	133
為替差益	5	34
その他	68	65
営業外収益合計	250	263
営業外費用		
支払利息	8	7
不動産賃貸原価	80	75
その他	25	26
営業外費用合計	114	110
経常利益	619	756
特別利益		
投資有価証券売却益	22	—
特別利益合計	22	—
税金等調整前四半期純利益	641	756
法人税、住民税及び事業税	230	252
法人税等調整額	△33	△13
法人税等合計	197	238
四半期純利益	444	518
親会社株主に帰属する四半期純利益	444	518

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	444	518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	1
為替換算調整勘定	12	55
退職給付に係る調整額	0	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	71
その他の包括利益合計	△8	130
四半期包括利益	435	648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	435	648

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、当該会計基準の適用による影響はありません。